



議会だより

おやま 町議会

No. 124



復興に向けて

9月8日、台風9号の記録的な豪雨により町内は未曾有の被害を受けました。被災者の皆様には心からお見舞い申し上げます。

国や県、自衛隊、近隣市町、災害ボランティアなどの方々には多大なるご尽力をいただき深く感謝を申し上げます。

町議会においても「議会災害復旧対策特別委員会」を設置し、早期の復興に向け、町と協力して取り組んでいきます。

災害現場の視察（漏船沢橋にて）

9月
定例会

- 災害復旧に向け補正予算を可決 2
- 21年度決算を認定 4
- 常任委員会の報告 7
- 町政のここが聞きたい 一般質問に8人 8
- 私からの提言 16

災害復旧に9億1,233万円 一般会計補正予算3号、4号を可決



▲わさび田の災害状況

9月定例会が9月7日から10月20日まで、44日間の会期で開かれました。当初は、9月22日までの予定でしたが、災害に対して円滑な復旧が実施できるよう会期を延長し、対応しました。

今定例会には、当局から平成21年度決算の認定や条例の改正など30議案と災害復旧に関する補正予算3件、議員から議会災害復旧対策特別委員会設置について1件の議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。

一般会計補正予算

9月13日に、緊急に対応しなければならぬ災害復旧の経費として2億4千782万円を追加（第3号補正）10月20日に、災害対策本部にかかる経費や優先的に行う災害復旧事業費として6億6千450万円を追加（第4号補正）し、歳入歳出それぞれ、予算の総額を17億9千813万円としました。

※全員賛成で可決されました。

歳入の主なものは

災害復旧の委託料及び工事請負費にかかる地方債（借入金）の総額
4億3千102万円

自宅を失くされた方や当分住めない方が自宅の建替などを実施した場合の1世帯あたり300万円を限度額とする県補助金
1千200万円

上野（奥の沢川）や町道定橋三保線、須走中学校体

育館などの災害復旧工事費に対する3分の2の国庫負担金
1億7千36万円

災害により発生した廃棄物の処分費や下野沢川他5箇所の橋にかかる査定設計委託料などに対する国庫補助金
4千594万円

被災者への災害義援金と町が行う災害復旧費に對していただいた支援金
6千300万円

財政調整基金からの繰入額
1億9千9万円

歳出（災害復旧費）の主なものは

水防費

災害対策本部に係る職員手当などの経費、9月8日以降の雨により流れ出した土砂の除去作業などの緊急業務委託料
1億8千772万円

農林水産施設費
農地や農業用水路、町が

管理する林道などの測量設計委託料、応急復旧資材の原材料など
1億5千340万円

公共土木施設費

町道や河川などの測量設計委託料、上野（奥の沢川）他3河川と町道定橋三保線他4路線の工事請負費など
3億9千15万円

衛生施設費

災害により発生したごみ処理収集業務など
3千686万円

文教施設費

須走幼稚園、須走中学校の体育館及びグラウンドの設計監理委託料と工事請負費
8千420万円

水道事業補正予算

奥道沼津小山線配水管布設復旧工事及び設計委託料など
3千654万円

※全員賛成で可決されました。

町の復旧に向けて動き出す — 局地激甚災害の指定へ —

議会災害復旧対策 特別委員会を設置

9月22日、議員発議による「議会災害復旧対策特別委員会」を設置することを全員賛成で可決しました。

委員会は、町が実施する災害復旧対策に積極的に協力すると共に、災害復旧の迅速かつ円滑な実施に寄与し、町民の生命・財産の保

全を目的に設置するものです。

なお、災害復旧対策に関して、議会閉会中も継続して調査を行うものとして、同委員会は委員長に梶栗孝議員、副委員長に仲井民夫議員を選出しました。



▲国土交通省・財務省の災害査定の様子（柳島にて）

ドキュメント 9月8日

■台風9号による大雨災害

8:32	大雨洪水警報発令 事前配備体制をとる
10:24	須走地区で時間110mmの降雨を記録(気象台発表)
10:35	土砂災害警戒情報発表
11:07	災害対策本部設置
11:20	鮎沢川が警戒水位2mを超える
11:22	緊急事態のため議会を中断し、延会とする
13:50	避難勧告 藤曲坂下地区
14:10	" 野沢川沿の藤曲、音淵、落合地区
14:48	" 須川野塚地区
15:45	" 柳島・湯船地区
15:55	鮎沢川の水位が最高水位を記録(3.69m)
17:10	避難勧告 茅沼地区
18:30	中島・藤曲地区停電(19:20復旧)
19:46~50	避難勧告解除
20:05	洪水警報解除
22:51	大雨警報解除

国へ要望

町議会は、9月16日、町長との連名で、国に対して、要望書を提出しました。

主な内容は、被災者が安心して暮らせる生活を一日も早く取り戻すこと、局地激甚災害の早期探検や、緊急的な措置が速やかに講じられることなどです。

町へ要望

議会災害復旧対策特別委員会は、10月12日、第1回の委員会協議会を開催し、災害現場の視察調査を行い、町担当部から災害復旧

の状況報告を受けました。また、委員からの意見を集約し、町へ要望書を提出しました。

要望書の内容は次のとおりです。

1、農地災害で40万円以下の被害農家への補助に対して、最善の努力をされたい。

2、町内の被災を受けた中小の工場や企業及びゴルフ場に何らかの補助や優遇措置を考えてほしい。

3、被害にあった頭首工を優先的に復旧する旨を県などに要望してほしい。

4、局地激甚災害の指定が適用されるよう議会も協

国会議員へ陳情

町議会は、10月26日、地元国会議員の細野豪志代議士、渡辺周代議士へ公共土木施設(道路、河川)に対しても局地激甚災害の指定などが適用されるよう陳情しました。

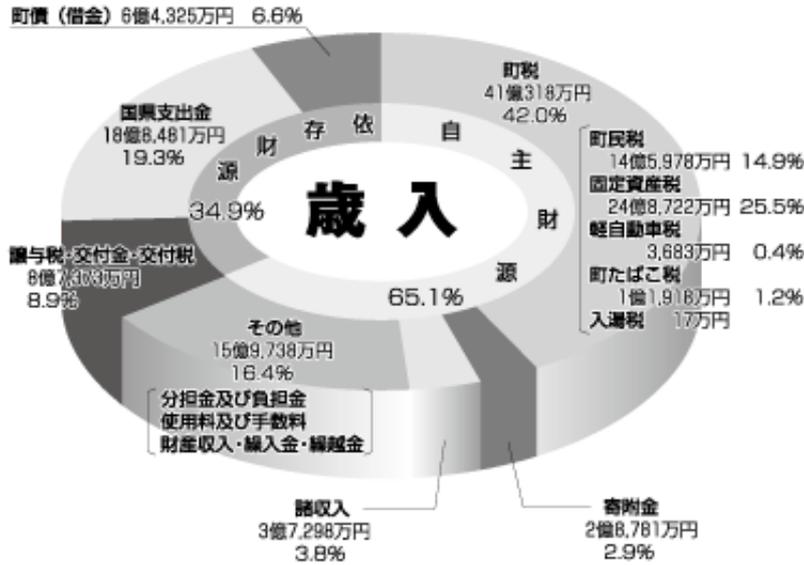
局地激甚災害に指定されると？

災害復旧事業の国庫補助率のかさ上げ(1割→2割)措置がされ、町の財政負担が軽くなります。

3 ※局地激甚災害の指定：国が町に対して、災害の規模が特に甚大であり、国民の生活に著しい影響を与えた場合、町の復興支援のために通常を超える特別の財政援助や助成を行うことを認めて指定すること。

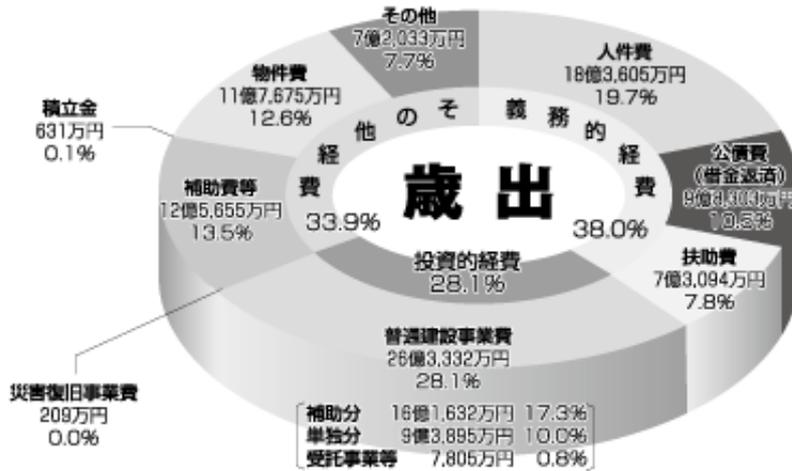
9月 定例会

歳入合計 97億6,314万円



21年度決算を原案どおり認定

歳出合計 93億4,537万円



決算質疑ピックアップ

豊門公園の今後の展望は

Q 豊門公園が整備され、すばらしい公園に変わったが、イベントの企画や町内外へのPRなど、今後の展望はどのように考えていますか。

A 開園して約1年になるが、豊門会館及び西洋館の一般公開を3回、団体など



▲富士箱根トレイルハイキングバスを利用するハイカー

の見学、視察希望者への公開を23回行っています。見学者は約1千人になっています。

今年度は、季節ごとの一般公開を中心に計画しており、公園を利活用し、より多くの方に見ていただけるようPRに努めます。観光ボランティアの皆さんにも応援を頼みながら積極的に取り組んでいきたいと考えています。

富士箱根トレイル開通の成果は

Q 富士箱根トレイルの開通記念ハイキングは多くの参加者で賑わったそうだが、PRはどのように行い、その成果はどのように分析していますか。

A トレイルの開通に合わせて観光協会と連携し、ポスターを作成し、小田急線に掲示しました。

また、今年度からホームページに四季折々の情報を常時掲載しています。その成果として旅行会社数社が、バスツアーを企画するなど首都圏からもハイカーが訪れています。駿河小山駅前商店街ではハイカーに記念バッチの配布をして好評を得ています。商店街の活性化につながっていくと考えています。

町の有害鳥獣対策は

Q 有害鳥獣捕獲に対して猟友会小山支部へ助成金などが支出されているが、会員が少なくなる中、町は有害鳥獣対策をどのように考えていますか。

A 猟友会小山支部の皆さんには、大変お世話になっており、昨年の延べ従事者数は854名でした。町では、有害鳥獣対策協議会の設置を今年度で計画しており、猟友会の会長をはじめ会員

の皆さんの意見を聞きながら対策を立てていきたいと考えています。

人件費の今後の見通しは

Q 職員給料などの人件費は、平成17年度に比べ減少しているが、臨時職員の費金が大幅に増加している。その原因と人件費の今後の見通しはどうか。

A 賃金が増加した原因は、学校、幼稚園の特別支

援などの講師が増えたことや用務員、給食員については、退職後職員として採用しないで臨時などで対応していることが原因となっています。

人件費については、退職者に対して採用を控えている状況であり、年間6千万から7千万円の減額が続いています。今後も定員適正計画を進めていく考えです。

※賛成多数で可決されました。

特別会計

会計別	歳入	歳出
国民健康保険	18億6,373万円	16億4,867万円
育英奨学資金	339万円	327万円
老人保健	2,614万円	942万円
後期高齢者医療	1億7,698万円	1億7,551万円
下水道事業	1億9,125万円	1億8,686万円
土地取得	2万円	2万円
介護保険	12億6,793万円	12億4,344万円

水道事業会計

内容	収入	支出
収益的収支	2億1,268万円	1億8,769万円
資本的収支	1億5,257万円	2億7,236万円

職員の勤務時間などに 関する条例を一部改正

平成20年の人事院勧告に基づき、民間企業との所定労働時間の均衡を図る観点から、職員の勤務時間を1日当り8時間・週40時間から1日当り7時間45分・週38時間45分に見直すものです。

すでに、近隣の駿東3市3町のほか戸籍、住民票など

※全員賛成で可決されました。

現行			
8:15	12:15	13:00	17:00
勤務時間(午前) (4時間)	休憩時間 (45分)	勤務時間(午後) (4時間)	
・勤務時間8時間→ 7時間45分			
改正後			
8:30	12:00	13:00	17:15
勤務時間(午前) (3時間30分)	休憩時間 (1時間)	勤務時間(午後) (4時間15分)	

▲勤務時間の改正前、改正後（一般職員の場合）

工事請負(変更)契約の締結

まちづくり交付金事業 須走地区横断歩道橋整備工事

変更の主な内容は、橋梁下部工を保護する施設整備のブロック積みを盛り土工法に変更することなどです。

当初契約額	143,850千円
今回減額	14,645千円
変更後契約額	129,205千円
契約相手先	白幸産業株式会社

※全員賛成で可決されました。



▲建築中の須走地区横断歩道橋

財産の取得

小山中学校の改築に伴い、新たに備品を購入するものです。

取得物品	教職員用机41台 いす45脚 戸棚、耐火金庫 など22台
取得価格	12,369千円
契約相手先	土屋家具店
納入期限	平成22年11月30日

※全員賛成で可決されました。

固定資産評価審査委員会 梶彰さんを再任

固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査する固定資産評価審査委員に梶彰さん（用沢）を再任することに同意しました。任期は、平成22年10月1日から平成25年9月30日までです。

教育委員会委員に 尾崎宏也さんを再任

教育委員会委員の任期満了に伴い、前委員長の尾崎宏也さん（小山4区）を再任することに同意しました。任期は、平成22年10月1日から平成26年9月30日までです。

12月定例会の お知らせ

12月定例会は次のよう
に開催する予定です。

- ◆11月30日 町長から12月議会への提出議案の説明、委員会付託
 - ◆12月7日 一般質問
 - ◆12月9日 総務建設委員会
 - ◆12月10日 文教厚生委員会
 - ◆12月17日 常任委員会
委員長の審査報告、質疑、採決
- ※変更になる場合があります。

総務建設委員会の報告

災害により防衛省の 交付金を繰越し

委員長 米山千晴



▲固定資産税(全体)の収入実績

Q 新たな観光資源としてホテルを使ったイベントなど実施し、地域の活性化を図りたいと考えます。

総務建設委員会は、災害のため9月15日、10月13日の2日間に分けて開催されました。町道認定1件、条例改正1件、補正予算3件、歳入歳出決算4件が付託され、それぞれ審議を行いました。主な内容は次のとおりです。

平成22年度一般会計補正予算(第2号)

Q 観光事業推進事業の具体的な内容は、

A 新たな観光資源としてホテルを使ったイベントなど実施し、地域の活性化を図りたいと考えます。

Q 企業の固定資産税の税収減込みは、

A 多くの資産を持った企業が倒産し滞納となった場合、約2千万円税収が落ち込むと予想します。

Q ゴルフ場利用税の見直しはどうか。

A 現在の経済状況などの低迷を考えると減少していくと考えられる。ゴルフ場経営者と意見交換の場を設け、協議していきたいと考えます。

付託案件は、すべて原案のとおり可決されました。

Q 災害により防衛省の交付金を繰越すことになった事業の内容は、

A 年度内の執行が原則だが非常事態により年度内着手が無理になったため、防衛省にお願ひし、了解が得られた。具体的には、発注済のもの・設計委託などは予定通り実施し、その他の工事請負費は繰越明許をして来年度に対応するものです。

平成21年度一般会計歳入歳出決算

文教厚生委員会の報告

「健体康心づくり小山町」 の実現をめざす

委員長 田代一夫



▲「三世代ふれあいの集い」の光景

Q 前年度からの繰越金が1千600万円ほどあるが、介護保険の基金は足りている状況か。

A 平成21年度から23年度までの3カ月の第4期計画において21年度は、給付費

文教厚生委員会は、災害のため9月16日、10月14日の2日間に分けて開催されました。条例の改正3件、補正予算5件、歳入歳出決算6件が付託され、それぞれ審議を行いました。主な内容は次のとおりです。

平成22年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

Q 特定検診、がん検診などの受診率向上に努め、早期発見、早期治療を推進すると共に、介護予防事業や健康増進事業を積極的に展開し、健体康心づくり小山町の実現を目指します。

A 特定検診、がん検診などの受診率向上に努め、早期発見、早期治療を推進すると共に、介護予防事業や健康増進事業を積極的に展開し、健体康心づくり小山町の実現を目指します。

Q ことも医療費助成について昨年に比べ増額となっているが、その主な要因は個人の補助額で最高額はいくらか。

A 主な要因は、新型インフルエンザの流行によるものと分析しています。入院にかかるもので、23万8千390円が最高額です。付託案件は、すべて原案のとおり可決されました。

Q 保健・医療の充実を図るとあるが、事業全般の課題についてどのような認識か。

A 保健・医療の充実を図るとあるが、事業全般の課題についてどのような認識か。

平成21年度一般会計歳入歳出決算

Q 保健・医療の充実を図るとあるが、事業全般の課題についてどのような認識か。

Q 保健・医療の充実を図るとあるが、事業全般の課題についてどのような認識か。

● 一般質問 ●

一般質問に8人

一般質問とは、町の一般事務について町長などに対し、所見を求め、疑義をただすことをいいます。



▲道の駅「ふじおやま」



田代 一夫

Q 道の駅「ふじおやま」指定管理者の選定は A 議会の理解を求めています

Q 道の駅「ふじおやま」の実績と他の道の駅との比較はどうか。

A 町長 「ふじおやま」は、延床面積1246㎡、1㎡当たり販売額は、約33万7千円、近隣道の駅は「やまきた」が約32万円、「富士川楽座」が約26万2千円、「朝霧高原」が約36万5千円です。

及び議会全員協議会、8月10日に再度総務建設委員会協議会でご説明し、議員諸氏の理解を求めています。

Q 道の駅「ふじおやま」の指定管理者選定の経過はどのようになっています。

A 町長 早期に指定管理者を導入することが望ましいと考え、7月15日に開催した指定管理者選定委員会で、ふじおやまへの随時選定を承認いただき、同月22日に議会総務建設委員会協議会

道の駅「すばしり」について発案、計画に対する地元理解と町当局との相違点は、

A 町長 「須走地域まちづくり基本構想」の一環として計画したものですので、地元と町に相違があるとは考えられません。

Q 道の駅「すばしり」の総事業費は、

A 町長 まちづくり基本構想全体事業費が約37億6千万

円、道の駅事業費が概算で16億5千万円となります。

Q 指定管理者の公募選定に対する地元説明の理解度について、町と地元との相違点は、

A 町長 指定管理者を公募で選定するとの説明会は9回にわたって実施しました。地元理解の上で3社の応募がありました。説明会には私自身が参加すべきであったと思います。

※その他に住宅建設等助成事業に対する町の基本姿勢についての質問がありました。

● 一般質問 ●

町政のここが聞きたい



▲災害復旧工事のようす（町道原向中日向線）



田 田 豊 造

Q 品確法と総合評価方式の取り組みは

A 本格的に採用するには至りません

Q ダンピング受注について

解体業務などに50%以下で受注するダンピング（最低価格制度）が見られる。品質低下さらに建設産業の発展を阻害する懸念があるが、公正な秩序は保たれているのか。最も大事な安全への配慮・監督はどうか

A 町長 小山町建設工事入札参加指名委員会において、工事の発注規模やその工事に対する施工能力を有する町内業者を中心に指名競争入札としていることから、最低制限価格を設ける必要性はないと判断しています。

Q 総合評価方式について

低価格競争ばかりでなく技術力、品質力などを重視した総合評価方式があるが町はどのように取組んでいるか。今回の災害をみるに「小山方式」などの特殊な工法を開発する必要があると思うが。

A 町長 総合評価方式は、国・県レベルで行われる広範囲に多数を対象とした一般競争入札を前提としているため、町が採用している町内業者の育成を目的とした指名競争入札を発注規模からこの方式にて本格的に採用するまでには至っていません。しかし、当町においても平成19年度から毎年1件ずつ簡易型を実施し、技術力、品質力を重視した入札方式について試行・研究しています。

Q 電子入札への参入意思は

電子入札は、より透明性、公平性を高めるために役立ちさらに談合防止にもつながると思うが参入の意思は。

A 町長 電子入札に関しては、一般競争入札のように広範囲から入札業者を求める場合には有効な手段と考えますが、現在、本町の年間の入札件数がおよそ100件と少数であること。入札方法及び費用対効果、並びに業者への負担。そして何より町内業者の確保・育成ということを考慮すると導入には時期尚早と考えます。

※品確法＝公共工事の品質確保の促進に関する法律

● 一般質問 ●



池谷 洋子

Q 投票入場券(ハガキ)の裏面を
期日前投票宣誓書にしてみても
A 読み書きしやすいか検討

Q 高齢者から期日前投票の際「投票所で宣誓書を書くだけでも緊張して手が震える」「もっと近くで期日前投票ができないか。」などの声があります。受付事務の簡素化や投票率の向上を図る観点から投票所入場券の裏面を期日前投票宣誓書にしてみてもいいか。

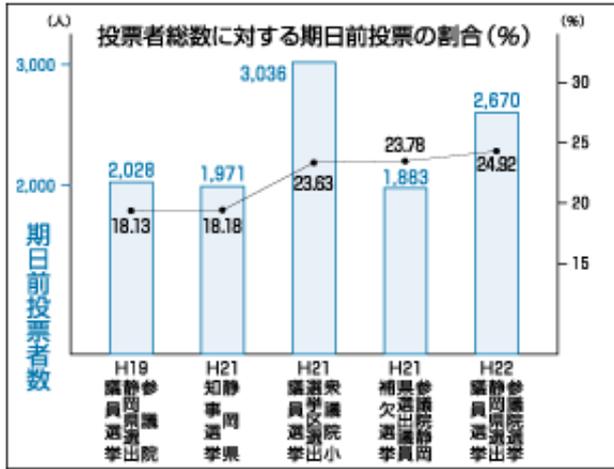
A 選挙管理委員長
現在、入場券の裏面には選挙情報等が満載の状況です。また、宣誓書を刷り込むことは、文字サイズなどから読み書きしやすいかどうか、可否を含めて検討していきます。

Q 高齢者の安否確認対応について
今後、世帯構成は、「単身世帯」「老夫婦世帯」が多くなると推計される。孤独死などを防ぐ対策は。

A 町長
別居のご家族等に通報できる緊急通報システムとして、ペンダント型発信器を貸し出しています。また配食サービス利用時の安否確認や「おやま高齢者見守りネット」により、孤立防止を図っています。

Q 子ども相談室「なのはな」事業の取り組みについて
相談件数と相談内容は。経過及び成果と今後の展開は。

A 教育長
学校、園への巡回指導を、9月末までに延べ93回行っています。子どもの発達や生活習慣などによる子育ての悩みについての保護者からの相談は10件ありました。子育ての悩みは、潜在的に多くあるため、今後、より活用しやすい体制の整備に努めます。



▲ 期日前投票の実績

A 選挙管理委員長
7月の参議院選挙で複数施設での期日前投票実施を前提とした電算システムを導入しました。システムの検証、経費等、すべてについて実施に向けて更に検討していきます。

Q 須走などの遠隔地にも期日限定の期日前投票所を設けてはどうか。

Q 行政だけではなく民生委員など地域の力をどのように活用していくのか。

A 町長
民生委員、児童委員による実態訪問調査や連絡婦人会、区長会及び老人クラブ等の皆さまに高齢者が安心して暮らせるまちづくりにご協力いただいています。

● 一般質問 ●



岩田 治和

Q 公共施設などの耐震補強の対応は

A 平成24年度までに

全ての学校施設は完了の予定

Q 耐震補強の予定は公共施設は、不特定多数の利用者が見込まれる

ほか、地震災害の発生時には災害応急対策の実施拠点や避難所になるなど、防災

拠点としても大きな役割を果たし、耐震化は極めて重要である。

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」により、昭和56年以前の基準で建築された建築物は、現行の耐震基準と同等以上の耐震性能を確保するよう努めることになっている。

また、学校施設は、児童生徒等が一日の大半を過ごす活動の場であるとともに、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割をも果たすことから、その安全性の確保はきわめて重要であり、耐震化の推進が喫緊の課題となっている。

A 町長 平成15年8月に策定された「東海地震対策大綱」及びこれに伴う「東海地震緊急対策方針」に基づく耐震性に係るリストの対象となる町内の公共施設は、平成22年4月1日現在123棟です。

このうち85棟は昭和56年6月1日以降の新基準により建設されたもの又は昭和56年5月31日以前の旧基準による建物で補強工事により、新基準Ia又はIbの耐震化が完了している建物で、耐震化率は69.1%です。

旧基準で建築された公共施設で耐震診断未診断の10棟を含み耐震化の必要な建物は38棟です。

ライフラインについては、水道施設の18配水池の耐震化率は50%、基幹幹線施設の耐震化率は57%です。

町道に架かる橋梁は、185橋の内16橋が耐震診断を完了しているのが現状です。

今後の耐震化への補強工事計画では、学校関係は平成24年度までに全て完了する予定です。町営住宅は、「小山町住宅マスタープラン・町営住宅ストック総合活用計画」に基づき逐次耐震化する予定です。

また、ライフラインは「小山町上水道基本計画」や橋梁の「長寿命化修繕計画」により耐震化補強工事を実施する予定です。



▲耐震補強工事中の北郷中体育館

行政として厳しい財政状況のなか、町民の安全、安心を確保する取り組みや、次世代を担う子どもを育む環境整備は計画的に対応

● 一般質問 ●



▲ 足柄サービスエリア（下り）



湯山 鉄夫

Q 足柄サービスエリア
スマートインターの設置は

A 御殿場市と積極的に協議・調整をする考え

Q 足柄SAのスマートインター設置に対しては、以前からの町の発展のために、その必要性を提言してきました。設置に向けて御殿場市と連携し、共同歩調にて取り組むことが必要不可欠であります。町の考えを伺います。

ため、町の将来の発展を考えると是非必要でありますので、今後、御殿場市と積極的に協議・調整していきたいと考えます。

A 町長 スマートインターチェンジを設置するには、地元の桑木区と御殿場地先の深沢地区の理解を得た上で、町と御殿場市が一体となって地区協議会を設立する必要があります。町としては、スマートインターが設置されれば、周辺の土地利用が有効に図られ、東名高速道路の利便性が向上し、町の活性化が期待され

るため、町の将来の発展を考えると是非必要でありますので、今後、御殿場市と積極的に協議・調整していきたいと考えます。

Q 足柄地域の振興策の推進と町の将来の発展に向けて、必要課題として官民一体的な取り組みが重要であると考えます。足柄駅舎は、村民の情熱により建設されすでに63年が経過しました。近年、駅周辺も都市化が進み、県道の3路線も整備され、地域環境も大きく発展してきました。足柄駅は将来、町の発展と交通の接点として重要な役割をもっており、利用者や地元住民から改築の希望が上っている。足柄駅

の推進と町の将来の発展に向けて、必要課題として官民一体的な取り組みが重要であると考えます。足柄駅舎は、村民の情熱により建設されすでに63年が経過しました。近年、駅周辺も都市化が進み、県道の3路線も整備され、地域環境も大きく発展してきました。足柄駅は将来、町の発展と交通の接点として重要な役割をもっており、利用者や地元住民から改築の希望が上っている。足柄駅

A 町長 スマートインターチェンジを設置するには、地元の桑木区と御殿場地先の深沢地区の理解を得た上で、町と御殿場市が一体となって地区協議会を設立する必要があります。町としては、スマートインターが設置されれば、周辺の土地利用が有効に図られ、東名高速道路の利便性が向上し、町の活性化が期待され

るため、町の将来の発展を考えると是非必要でありますので、今後、御殿場市と積極的に協議・調整していきたいと考えます。

A 町長 足柄地域は足柄峠、あしがら温泉などの観光資源が豊富なことから、地域活性化の潜在的可能性は非常に高いものがあり、足柄駅の整備は必要なものと感じています。そのため、御殿場線輸送力増強促進連盟を通じて、JR東海へ改築の要望を行いました。各駅の改修計画は、利用状況や緊急性から優先度を判断しており、当社の施設整備計画が上がっていない。との回答でありました。今後、JR東海へ引き続き協議の場を持てるよう、執拗に取り組んでまいります。

の推進と町の将来の発展に向けて、必要課題として官民一体的な取り組みが重要であると考えます。足柄駅舎は、村民の情熱により建設されすでに63年が経過しました。近年、駅周辺も都市化が進み、県道の3路線も整備され、地域環境も大きく発展してきました。足柄駅は将来、町の発展と交通の接点として重要な役割をもっており、利用者や地元住民から改築の希望が上っている。足柄駅

● 一般質問 ●



▲ 国道138号線の渋滞の状況



廣嶋 邦彦

Q 国道138号線に誘導案内板の設置を

A 渋滞時の抜け道マップなど

情報提供を行います

Q 有料道路が社会実験において一部無料化になりましたが、東富士五湖道路もそのひとつとして6月より無料化になりました。その影響もあつてか国道138号線は御殿場市仁杉の信号機を先頭に終日大渋滞になっています。

来年4月オープン予定の道の駅「すばしり」を含め、小山町市街地や国道246号線、東名大井松田、御殿場インター、道の駅「ふじおやま」あしがら温泉などへの抜け道や近道として誘導案内板を設置することによって、小山町の観光案内の位置づけやアピールなどにつながる、そのことが町の税収アップにもつながるものと考えますが、国道

A 町長 東富士五湖道路は、無料化に伴う地域経済への効果や渋滞、環境への影響を把握するために社会実験が行われています。

この道路は、中央自動車道などの幹線道路から、富士山周辺へのルートとして、無料化により、観光客の増加が見込まれますが、無料化に伴う観光客の増加は、地域経済に大きな影響を与えることが予想され、町にとつても、大きなメリットであります。そこで、国道246号、東名大井松田、御殿場インター、町の観光施設

等とにかく案内誘導するものは重要な課題でありますので、今後、わかりやすい案内やユニバーサルデザインへの対応なども含め、表示等について検討し国・県等の関係機関へ働きかけ、実現に向けて取り組みます。

来年4月オープン予定の道の駅「すばしり」については、東富士五湖道路、国道138号、町道富士学校線などに道の駅への標識を16箇所表示する予定です。

また、完成後は、渋滞時の抜け道マップなどの情報発信、提供を積極的に行っていく予定です。

● 一般質問 ●



岩田 潤泉



▲ ボートピア建設予定地の現況

Q 七度問うボートピア、

その後どうなっていますか

A 現在のところ工事着手されていません

Q 浜名湖競艇企業団の人が来町し、富岳サービスはいろいろな事情があるので、他の業者を見つけてから、少し待ってほしいと、言ってきたという話が流れていますが、本当ですか。

A 町長 平成21年4月に小山町役場において浜名湖競艇企業団の企業長と面会しましたが、その後一年以上、浜名湖競艇企業団の方とは会っていません。

Q 相撲界をゆるがせた野球場博覧事件のように、暴力団が背後にある虞があります。その監視は？

A 町長 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

Q 開発許可を求めた法人の代表、ひとり取締役が医療法違反である事実に対する所見を求めます。

A 町長 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

Q 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

A 町長 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

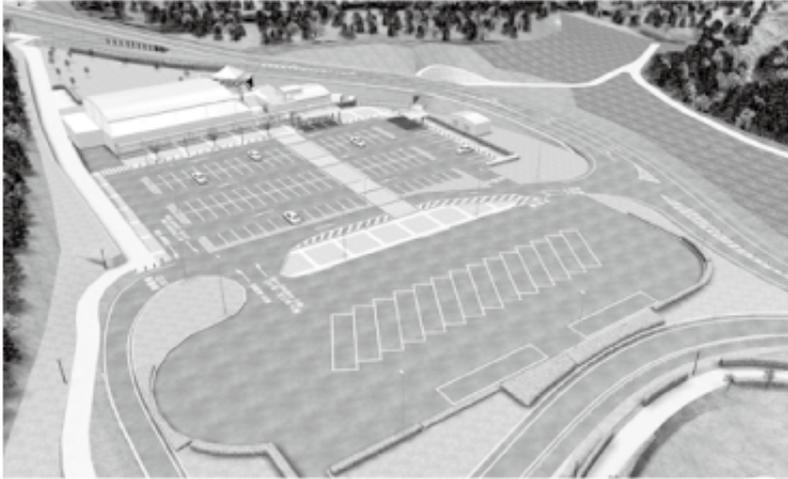
Q 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

A 町長 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

Q 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

A 町長 代表者に對する所見についてですが、当法人と関係する事務で町がなすべき事は、土地利用指導要綱

● 一般質問 ●



▲道の駅「すばしり」の完成予想図



日井 淳一

Q 町長の所信を問う

道の駅「すばしり」の管理運営は

A 地元に任せるとの約束をした事実はありません

道の駅「すばしり」の管理運営は

前町長は、一貫して地元
に管理・運営を任せると言
い続けてきた。

現町長は、公募による業
者選定へと方向変換を図
り、行政の統一性、継続性
は一気に崩され、方向性が
変わってしまった。

今後、どのような対応を
図っていくのか。

A 町長 指定管理
者の選定は、

9回にもわたる地元説明の
上で公募により実施をした
ものであり、前町長が地元
に管理を任せるとの約束を
した事実はありません。現
在須走地区を含め町内業者
と候補者との調整が順調に
進んでおり、受け入れ態勢
は整えられたと考えていま

す。

合併問題への取り
組みは

今後、小山町は、市町村
合併問題にどのように取り
組んでいくのか。

駿東地区広域行政推進協
議会の中で、合併問題や道
州制への移行について、現
在、どのような状況、方向
性を考えているのか。

A 町長 市町合併
のような町

の将来を決定付ける大変重
要な課題は、町長一人が方
向付ける、あるいは方向付
けられるものではなく、町
民や近隣市町との十分、徹
底した議論の中より生れて
くるものと考えます。
「駿東地区広域行政推進協
議会」では、住民意向調査

Q 来春の統一地方選
挙への対応は

町長就任2期目への抱負、
統投の意思などをお聞かせ
願いたい。

A 町長 町長とし
ての任期ま

で自分の精一杯の務めを
果たし、その時、我を振り
返り、町民の信頼は如何で
あったか、冷静に判断した
いと思いません。

— 私からの提言 —

No.11



杉山 鳴 (小山4区)
小山町が大好きです!!

— みんなが安心して暮らせる町に —

小山町に定住してからすでに20数年もの月日が経ちます。あと少しで日本での暮らしが母国中国での暮らしよりも長くなります。思い出せば子育てと共に自分自身も成長し、地域に溶け込むことによって多くの良き先輩や友人に恵まれ、町民の一人になったのだと思う今日です。

最初の頃、都会で育てられたためか、小山町はなんて田舎で寂しい所なのだろうと思いました。

しかし、最近では、長期不在から久しぶり小山町に戻ってくると、緑が多く水がおいしくていいなあと思うようになり、富士山を見ると何となく落ち着く気持ちになります。やはり、よその所へ行って初めて小山町の良さは実感できるのではないのでしょうか。

また、小山町に嫁いできた頃から、総合文化会館や健康福祉会館、小山高校などの様々な公共施設が造られ、ますます住みやすい町になりました。

「住めば都」の言葉のとおり、私は小山町が大好きです。これからも小山町に住んでよかったなあと思えるように過ごしていきたいです。

小山町議会には、もっと住みやすく、みんなが安心して暮らせるような町になるよう期待をしています。

災害現地の視察報告

9月8日、台風9号による記録的な豪雨で町内は土砂崩れなど甚大な被害が発生した。一方、住民の死傷者がなかったことに全国から「防災意識」がしっかりと評価された。議会も災害復旧対策特別委員会を設置、10月12日全議員で被災地の視察を行った。柳島地区の仮設橋が開通、地元住民が安堵の表情で車通

は息をのんだ。各被災地では、自然の驚異を見せつけられた。今後の課題は人災を起ささないよう自然と向き合わなければいけない。10月22日朝報が入った。閣議決定で農地、農業用施設及び林道関係には局地激甚災害の指定がされた。今後、公共土木も指定されるよう求めていきたい。

池谷洋子 記



現地視察の様子(町道土野大御神線)

会議録の閲覧ができます

議会だよりは、紙面の都合により、議員や町長等の発言を要約して掲載しています。詳しく知りたい方は、図書館で閲覧できますので、ご覧ください。なお、9月定例会の会議録は、12月下旬から閲覧できます。

小山町のホームページ <http://www.fuji-oyama.jp>

編集後記

皆さんの声を募集しています! 町づくりや子どもの教育のことなど、どんなことでも結構です。あなたの住所、氏名、電話番号を明記してメール、ファックスやお手紙で気軽にお寄せください。ご応募いただいた内容は、広聴委員会で選考し、ご本人に承知していただいた上で「議会だより」に、掲載することとします。

議会へのメールアドレス gikai@fuji-oyama.jp

あの水害から三か月。須川野沢川、船沢川に今も「清流」は戻らず「濁流」が渦を巻いている。「百年河湍を懐つ」のだろうか。災害は忘れたころ来るとか。アイオン台風は知らない人も多いが、昭和47、57年の水害は忘れた頃か。次の災害はいつ、どのように来るのか。小山町でも最も恐ろしいのは、予想されている東海地震だが、地球温暖化による断層の増大で断層距離140ミリになる日も近いことではないという。大地震、大雨への備えは? 20年後のわが小山町はどうなっているのか。自分の生き残っているだけ世の中が安堵であればいいと言えるのか。天地が崩れるのを憂うような杞憂、取り越し苦労はせず、のんきに? トレイルロードの不満箇所の調査に生土山へ行くこと山の上には海岸の石がごろごろあり、太古、海岸であったことを示している。満海変じて桑田と云るか。(記 岩田潤也)

- 〈編集委員〉
- 委員長 潮山 鉄夫
 - 副委員長 園田 豊造
 - 委員 白井 淳一
 - 委員 池谷 洋子
 - 委員 岩田 潤也

